

大志

山岡中学校だより

令和7年度 10月末号



恵那市山岡町下手向 182-4 Tel 26-6882

夢中になって何かをしたい

校長 後藤 琢磨



生徒が夢中になって何かに打ち込んでいる姿を見ると、実に美しいと思います。

陶芸や絵画など、芸術制作に没頭することは、社会人になってしまうと、よほど時間と心に余裕がないとできません。

その点学校では、授業の中で時間が確保されています。あとは心を解放し、芸術作品に没頭する楽しさを味わってほしいと願っています。

しかし、芸術制作が嫌いな子がいます。アイデアが浮かんでこない時があります。そんな子たちは、他の子が制作している様子を見に行きます。これが学校のよいところです。

芸術制作が好きな子はこんなことを言います。
「自分が好きなように描いたり作ったりできるのは最高に楽しい。」

写真のような絵を描く人は誰からも「上手だね。」とほめられます。ですが、人の心を引きつけるのはそういう作品ばかりではありません。本物そっくりではないのにずっと眺めてしまう絵、



単調な曲なのに体が熱くなる歌、見ただけで感動する毛筆の字、心が動くことに理由なんてありません。

裸の大将で有名な山下清画伯は、描きたいと思うと勝手に旅に出てしまい、変人扱いされましたが、絵は高い評価を受けました。

私は、彼の絵の才能よりも、夢中になれる才能の方が素晴らしく、実にうらやましいと思います。

